



《在福岡アメリカ領事館広報部／パシフィック・フォーラム CSIS 主催 特別シンポジウム》

日米中の海自・海軍退役将校と元米海兵隊員によるパネル・ディスカッション

アジア太平洋の海上安全保障と日米中関係

● 入場無料／日英同時通訳つき ●

アジア太平洋の安全保障をめぐる議論で近年焦点となっている海上安全保障。国土を海洋に囲まれエネルギー資源や食料の多くを海外に依存している日本にとって、シーレーン(海上交通路)の安全確保のための海洋安全保障は国民の生活の生命線とも言える重要な課題です。この点において日米両国は強固な同盟関係にもとづき海上自衛隊と米海軍が日米共同訓練などを通して緊密な連携を行い地域の平和と安定、繁栄に寄与しています。

そこで在福岡アメリカ領事館広報部とアジア太平洋地域を専門とする米シンクタンク Pacific Forum CSIS では、海洋安全保障に長年関わってきた日米中の海自・海軍退役将校と元海兵隊員による特別シンポジウムを開催します。東シナ海や南シナ海での最近の動きの背景は何か？ この海域での日米中の安全保障上の関心は？ 近海の安定のために日米中は政治・軍事レベルでの協力をどう深めていけばいいのか？ 米国の「エア・シー・バトル構想」、中国の「接近阻止・領域拒否」、「核心的利益」といった概念が外交・軍事政策に与える影響は？ オーストラリアや、シンガポールなど東南アジア諸国の海上安全保障上の関心と役割は？ この海域の海賊問題にはどう対処すればいいのか？ さまざまな視点から4人の講師が議論します。

なおこのシンポジウムは申込締切日前に満席となる可能性が高いため、出席ご希望の方は早めのお申し込みをお勧めいたします。(申込先着順受付で定員 100 名)

2012年5月

在福岡アメリカ領事館広報部

- 日時: 2012年5月16日(水) 午後5時～7時
- 会場: 福岡アメリカン・センター 電話:092-761-6661
(福岡市中央区天神2-2-67 ソラリアパークサイドビル8階)
- スケジュールと講師:
モデレーター: ブラッド・グロッサーマン氏 (Pacific Forum CSIS エグゼクティブ・ディレクター)
講師① マイケル・マクデビット氏 (米国海軍退役将校／現米海軍分析センター 上級研究員)
講師② ジャスティン・ゴールドマン氏 (元海兵隊員／Pacific Forum CSIS SPF フェロー)
講師③ 香田 洋二氏 (海上自衛隊退役海将／元海上自衛隊佐世保地方総監)
講師④ 楊 毅氏 (中国海軍退役将校／現中国国防大学研究員)



◎出席ご希望の方は、別紙ファックス申込用紙(FAX:092-721-0109)、もしくはメール (FACprogram@state.gov)で、在福岡アメリカ領事館広報部へお申込みください。
【締切=5月15日(火) 担当=宮内雅之】

◎定員 100 名に達し次第、申込受付を終了させていただきます。なお受講票は発行しません。(申し込み時点ですでに満席の場合のみ、連絡を差し上げます。)

ファックス出席申込用紙 (FAC)【申込締切 5月15日(火)／定員100名】

申込み先: 在福岡アメリカ領事館広報部 担当:宮内 ファックス番号 092-721-0109

メール(FACProgram@state.gov)での申し込み、および代理・同行者の出席も可能です。

2012年5月16日開催 『アジア太平洋の海上安全保障と日米中関係』

※申込者数が定員に達し次第受付を終了させていただきますので、あらかじめご了承ください。

(1)出席者氏名(勤務先・学校名および役職):

■氏名(よみがな)

勤務先・学校名および役職

_____ (_____)

■氏名(よみがな)

勤務先・学校名および役職

_____ (_____)

(2)連絡先電話およびファックス番号、電子メールアドレス:

電話=(_____) - _____ ファックス=(_____) - _____

電子メールアドレス= _____

(3)通信欄

【 モデレーターと講師略歴 】



<モデレーター(司会進行)> ブラッド・グロッサーマン (パシフィック・フォーラムCSIS エグゼクティブ・ディレクター) ジャパンタイムズ紙の論説委員を10年間務めたのち、現職。パシフィック・フォーラムCSISで国際会議の企画や出版のほか、ヤング・リーダー・プログラムの責任者も務める。米国の外交政策とアジアの安全保障について多数の論文を執筆し、インターナショナル・ヘラルド・トリビューン、ウォール・ストリート・ジャーナル・アジア、ジャパンタイムズなどの各紙にも寄稿多数。BBCやアジア各国のラジオで定期的にコメンテーターを務めている。



<講師①> マイケル・マクデビット氏 (米国海軍退役将校／現米海軍分析センター 上級研究員) 米海軍に34年間在籍。空母戦闘群など海上司令部の司令官を4回務めたほか、米太平洋軍司令部の戦略計画・政策部長、国防総省東アジア政策部長、国立戦争大学司令官などを歴任。退役海軍少将。現在は政府系研究機関の米海軍分析センター戦略研究部で中国の国家海洋戦略を中心に研究。南カリフォルニア大学で米国史の学士号、ジョージタウン大学で米国外交史の修士号を取得。



<講師②> ジャスティン・ゴールドマン氏 (元海兵隊員／Pacific Forum CSIS SPFフェロー) 1998年に米海兵隊に入隊。西太平洋の洋上任務、シンガポールやアラブ首長国連邦などでの訓練や東ティモールでの人道支援活動を経て、2001年からアフガニスタンとパキスタンでの作戦に参加。2002年に名誉除隊。米豪海軍合同の魚雷プログラムや、米海軍の海上安全保障協力プログラム「アフリカ・パートナーシップ・ステーション」にも参加した。米コロラド州のレジス大学で学士号(国際政策)、シンガポールのS・ラジャラトナム国際研究大学院で修士号(戦略研究)を取得。同大学院の研究員補としてシンガポール軍の指導にも携わった。



<講師③> 香田 洋二氏 (海上自衛隊退役海将／元海上自衛隊佐世保地方総監) 海上自衛隊に30年あまりにわたり在籍。海上幕僚監部防衛部長、統合幕僚会議事務局長、佐世保地方総監、自衛艦隊司令官などを歴任し、2008年に退役。2009年～11年までハーバード大学アジアセンター上席研究員として、自衛隊時代の経験に基づき、21世紀の日米同盟のあり方について研究。現在は(株)IHIマリンユナイテッド顧問を務めるかたわら、国内外での講演や論文執筆に取り組んでいる。1972年防衛大学校卒業、1987年海上自衛隊幹部学校修業、1992年米海軍大学校卒業。



<講師④> 楊 毅氏 (中国海軍退役将校／現中国国防大学研究員) 中国海軍フリゲート艦副艦長、海軍司令部外事課長、駐米大使館海軍武官、中国国防大学戦略研究所所長などを歴任。退役海軍少将。安全保障や軍事戦略の専門家として様々な政策課題について中国指導部に助言を行っている。国際会議への出席や国外での講演も多く、中国の安全保障戦略についての論文も多数。